

6年度の予算が決まりました

3月4日から開かれた第1回大分市議会定例会で6年度の予算が決まりました。今回は、その概要と主な事業を紹介いたします。(数字は概数)

問 財政課 ☎537-5607

当初予算の編成にあたって

市税をはじめとした一般財源の確保はもとより、「選択と集中」の考えのもと、効率的かつ効果的な事業実施ができるよう、事務事業全般にわたってスクリップアンドビルドを進め、必要な財源を確保したところです。

こうした取組のもと、本市の最優先課題である少子化対策をはじめ、医療や防災の充実、脱炭素社会の実現に向けた取組など、「ひとが真ん中。」を基本姿勢とした5つのまちづくりの考え方に基づく施策を中心に予算配分を行いました。また、市民生活に密着した分野については優先的に予算を確保するとともに、地域経済の支えや物価高騰対策にも配慮しました。

必要な施策ひとつひとつをスピード感を持って実行することで、県都である大分市が明るい未来を描けるまちになると考えており、そのことがひいては日本全体を明るくすることにつながるものと信じております。その実現に向け、引き続き「One team OITA (ワンチームおおいた)」で市政運営に全力で取り組んでまいります。



大分市長 足立信也

まちづくり5つの柱

- ### 1 ひとを守る

自然災害や感染症などのリスクをあらゆる角度から想定し、被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守ります。
- ### 2 ひとを育む

妊娠・出産・子育てから大学などの高等教育まで切れ目のない支援で、誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境をつくります。
- ### 3 ひとを支える

少子高齢化による地域コミュニティの衰退などに備え、誰もが役割を持ち、お互いに支え合い、自分らしく輝ける社会の実現をめざします。
- ### 4 ひとを豊かに

市民生活の向上と心豊かな暮らしを実現します。また、このまちを次世代へ引き継ぐため、持続可能なまちづくりを進めます。
- ### 5 ひとを元気に

人とまちが元気に輝き続けられるよう、新たな魅力が生まれるまちづくりを進めます。

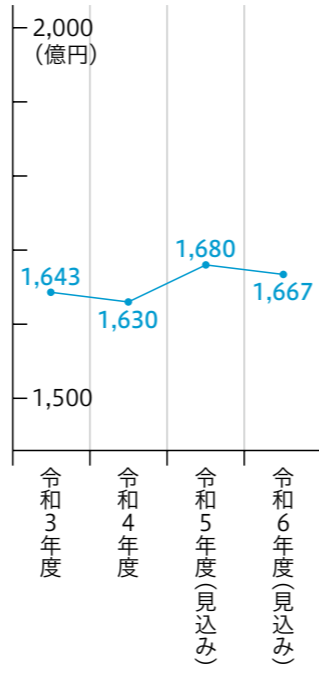
一般会計 2,118億5,000万円
市民一人当たり 44万6,527円

会計別予算額	
一般会計	2,118億5,000万円
特別会計	1,055億1,900万円
国民健康保険	502億300万円
介護保険	449億4,900万円
後期高齢者医療	89億6,500万円
公設地方卸売市場	3億5,400万円
その他	10億4,800万円
水道事業会計	188億500万円
公共下水道事業会計	271億円
予算総額	3,632億7,400万円

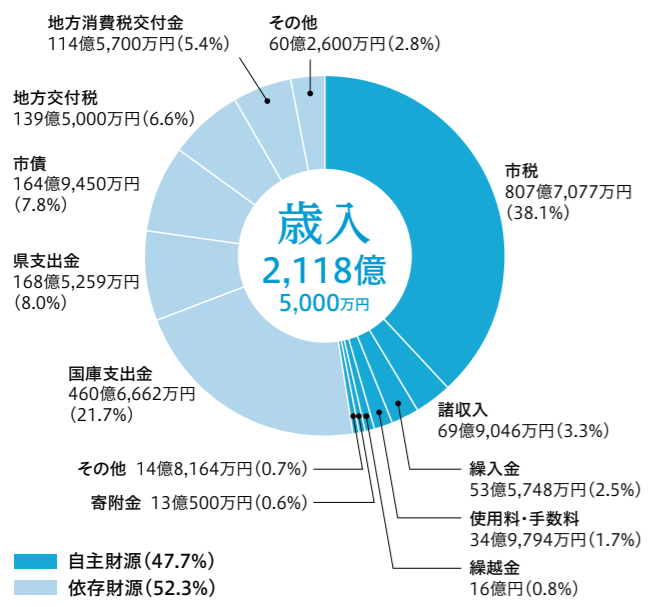
目的別分類

民生費	945億5,949万円
土木費	220億6,903万円
教育費	195億1,717万円
総務費	187億9,078万円
衛生費	184億8,872万円
公債費	184億8,140万円
消防費	78億2,794万円
商工費	73億4,609万円
農林水産業費	34億915万円
議会費	9億2,880万円
労働費	2億2,143万円
予備費	2億円
災害復旧費	1,000万円

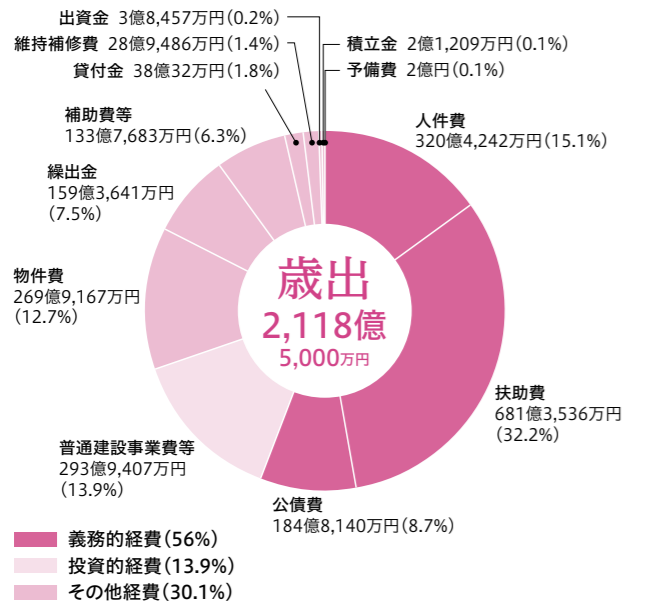
市債(借入)残高



一般会計 歳入



一般会計 歳出



政策の取組状況

5つのまちづくりの柱に沿った主な事業の取組状況など(6年3月31日時点)を市ホームページで紹介しています。

問 市長室 ☎537-5600



主な事業例

- **工場夜景クルーズモニターツアーの実施**(5年11月～) グリーン・コンビナートへ変化していく工場群を海から眺める新たな魅力の発信
- **市立中学校の給食費無償化**(5年度3学期給食提供分～) 市立中学校(碩田学園後期課程を含む)に在籍する生徒を対象に実施
- **保育園等でのおむつ処分**(5年10月～) 使用済みの紙おむつを自園で処分できるように支援
- **アーバンスポーツイベントの開催**(5年10月) スケートボードやBMX、ダンス、3×3の体験イベントを実施
- **おおいたパートナーシップ宣誓制度の導入**(5年9月～) 性的マイノリティ(性的少数者)の人たちの基本的人権を尊重し、多様性を認め合うことで誰もが暮らしやすい地域社会につなげる